

平成31年2月22日

九州地方整備局

九州技術事務所

災害対応用360° カメラマニュアル作成 及び情報共有システムの開発について

九州技術事務所では、360°カメラの災害対応への活用についていち早く取り組みを開始し、平成30年度の耶馬溪山崩れ、北海道震災、台風24号等の災害現場で活用しました。

この災害現場での実運用で得たノウハウを、360°カメラメーカーにご協力いただき「災害対応用360°カメラマニュアル」としてとりまとめました。また、360°カメラで撮影した情報を速やかに共有するシステムも併せて開発いたしました。両者ともに我が国初となる試みです。

360°カメラは九州地方整備局で災害対応に使用されることとなり、今後九州各地で訓練や実際の災害対応に使用されることとなりました。

本格運用を目前として、このマニュアルとシステムを用い、九州地方整備局職員(約20名)を対象に、「災害対応360°カメラ活用研修」を実施いたします。実際に360°カメラ撮影やシステムを使用する研修を撮影可能です。

- 日 時：平成31年2月27日(水) 15時00分～17時00分
- 場 所：国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所 研修所二階 小教室
*研修は14時00分～17時00分 O.A室及び橋梁実モデル施設

【お問合せ・取材申込み】

国土交通省 九州地方整備局 九州技術事務所

〒830-8570 久留米市高野1丁目3番1号

TEL0942-32-8245 (代表)

技術情報管理官 房前 和朋 (内線303)

※事前の申込みがなくても取材可能です



○VR技術（360°カメラ）効果



360°カメラ

シャッターを押すだけで全方位（上下左右360°）の映像と音声を記録

+



HMD

ヘッドマウントディスプレイ

頭に装着することで、その場所にいるようなリアルな体験が可能

災害時の活用

災害現場の360°写真・動画で情報共有することで、迅速かつ正確に多人数が現地を把握。適切な指示や支援を行う。

また貴重な災害経験をアーカイブし、蓄積することで、より高度な災害対策に資する。

今後、九州地方整備局の災害対応において運用されることになったため、九州技術事務所でマニュアル作成を行った。

平成30年4月の耶馬溪山崩れで試験運用し、北海道震災、台風24号等で効果が検証された。



平成30年4月11日23時中津市耶馬溪町山崩れ現場
（実際には360°動画）

現地の画像を九州技術事務所に送り、災害対策機器輸送の可否、設置位置の検討、機器の運用状況の把握等に活用。